

## 第7回教育研究審議会

### 議事概要

開催日：平成23年7月13日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、大平栄子学長補佐、清水雅彦学長補佐、阿毛久芳研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長、牛山恵国文学科長代理、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長、杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育研究センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長

欠席者：加藤祐三学長、田中一利理事

#### ■挨拶

高田副学長よりあいさつ

### 議 事

#### 1. 専任教員の公募（国文学科）について

○担当より説明、審議の結果、項目7以降に関しては事務局で精査するとし提案通り承認。

#### 2. 専任教員の採用（初等教育学科）発議について

○担当より説明、審議の結果、今回の教育研究審議会での意見を参考に次回の教育研究審議会にて再提出。

（あくまで初等教育学科での自然環境科学系領域に4名の教員が必要であることを中心とし、付加価値として中学免許取得申請もできる可能性があるという文章）

- ・6/22の教育研究審議会では、「プロジェクトBから中学校理科免許取得の課程申請の報告があっただけで、採用するという話ではなかったと認識している」という意見と「プロジェクトBからの報告を受けて物理系の教員採用について動き出してよいという認識をしている」という2つの意見があった。今回の資料は、報告を受けた時に後者の捉え方により「次回、提案（採用についての発議）をしてもいいか」という意見に異論がなかったことから提出された。
- ・初等教育学科では、将来のグランドデザインについては学科でも話し合いをしている。また中学校免許についても、理科以外に体育なども将来的には取得できるようにしていければと考えている。また、小学校の理科・中学校の理科というのは、物理・化学・生物・地学の4領域からなるもので最低限必要な分野であると考えている。
- ・このまとめ方（資料）だと課程認定のために採用するという言い訳に聞こえてしまうので、鶴田先生のいう理科教員が4名必要だということを中心に、尚且つ、付加価値として中学校免許を目指していくという方向で整理してまとめてほしい。

#### 3. 特任教員の採用（外国語教育研究センター）提案について

○担当より説明、審議の結果、人事資料を事務局で2週間閲覧したうえ、次回の教育研究審議会にて再

審議。

Bタイプ 特任講師

Bタイプ 特任教授

#### 4. 情報センターへの特任教員配置について

○担当より説明、審議の結果、情報センターからの特任配置の必要性についての共通認識が得られたということで、次回以降の教育研究審議会で次の手続きへ。

- ・ネットワーク管理・運営もしてもらいたいことから、採用は特任タイプBで採用を考えている。
- ・携帯電話が主流となり携帯電話中心の活用でパソコンに慣れていない学生が多いことから、基礎的なことに加え学科の専門的なことを含めたカリキュラムを考えていきたい。カリキュラムのことが関連してくるので、共通教育委員へは提出しようと考えている。

#### 5. 平成23年度非常勤講師の授業担当科目の取消、追加、実施形態の変更について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

#### 6. 平成23年度非常勤講師の授業担当科目の取り消しについて

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

#### 7. 平成23年度非常勤講師（社会学科：「自然保護と法」）採用の発議について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

#### 8. 都留文科大学防災委員会委員（案）について

○担当より説明、審議の結果、次回までに学長推薦の教員については各学科で確認。

#### 9. その他

○アメリカ St. Nobert 大学との交換留学プログラム（案）及び湖南師範大学から都留文科大学への指定校留学協定書（案）について

\*担当より概要説明、国際交流室長より資料に基づき報告。

アメリカ St. Nobert 大学との交換留学プログラム（案）については審議の結果、提案どおり承認。湖南師範大学から都留文科大学への指定校留学協定書（案）については、次回までに各委員協定書（案）を検討していただき再審議。その際、本学の留学制度が現在どのように動いているのか、また、交渉中なのかをまとめたものを次回の教育研究審議会にて提出。

- ・ 湖南師範大学からの指定校留学生は、日本語能力検定試験2級以上の合格者としているが、ジャストプログラムで日本語を学んでもらうことにより授業にもついていけると判断し、2級としている。
- ・ 湖南師範大学からは、私費で留学したいという学生がいるとの申し出があることから、都留文科大学も湖南師範大学へ私費で留学したい学生がいるか調べる必要がある。
- ・ St. Nobert 大学への本学からの留学は、TOEFL550点以上の学生は秋学期・春学期と在籍し学部の授業を履修し、TOEFL520点～549点の学生は、秋学期は4ヶ月ESLの授業を受講し、春学期より学部の授業を履修する。